

I 日本史B問題

A

(1) 9歳	(2) 関白
(3) 新羅	(4) 善男
(5) 八虐	
(6)(あ) 円珍	(い) 園城寺

B

(7) 平治	(8) 壇の浦の戦い
(9) 後醍醐天皇	(10) 北条高時
(11) 観応の擾乱	(12) 御家人
(13) 武士に高位高官を与えていること	

C

(14) 二・二六事件	(15) 加藤高明
(16)(あ) 小作農	
(い) 地主の土地を国家が強制的に買い上げ、小作農に優先的に売却した	
(17) 労働基準法	(18) 工場法

Ⅱ 日本史B問題

ア 石鍾	イ 石鏃
ウ 菜畑	エ 続縄文
オ 群馬	カ 群集墳
キ 推古	ク 飛鳥
ケ 大唐	コ 一遍上人絵伝
サ 新古今和歌集	シ 禁秘抄
ス 院評定衆	セ 宗尊親王
ソ 応永の外寇	タ 三浦の乱
チ ヘボン	ツ 大隈重信
テ 教育委員会	ト 文化庁

Ⅲ 日本史B問題

A

ア 評	イ 国造	ウ 庚午年籍
エ 食封 (封戸)	オ 軍団	
(1) 犬上御田鍬	(2) 内臣	(3) 浮浪・逃亡
(4) 貴族の子や孫が、父や祖父の位階に応じて一定の位階を与えられる制度		(5) 藤原広嗣

B

カ 重源	キ 律	ク 北条実時
ケ 法華一揆	コ 御文	
(6) 貞慶	(7) 長講堂領	(8) 陳和卿
(9) 北山十八間戸	(10) 富樫政親	

C

サ 郡代	シ 遠国	ス 松前
セ 京都所司代		
(11) 佐渡相川金山	(12) 小物成	(13) 松平康英
(14) 権現造	(15) 竹本義太夫	(16) 武家伝奏

IV 日本史B問題

(1)

享保の改革では年貢増徴を基調とする財政政策がとられたが、田沼意次は年貢増徴のみに頼らず、民間の経済活動を活性化させ、そこで生み出される富を財源として取り込む政策を採用した。田沼は都市や農村の商工業者を株仲間として広く公認して運上・冥加の増収をはかり、特定商人に銅などの座を結成させ専売制を実施した。さらに、長崎貿易を拡大して銅・俵物の輸出による金・銀の輸入をはかるとともに、ロシアとの交易も計画した。

(200字)

(2)

明治期、産業革命の進展に伴い労働運動などが発展するなかで社会主義運動が始まった。社会民主党ついで日本社会党といった社会主義政党が結成され、平民社により社会主義の立場から日露反戦論が唱えられたが、運動は治安警察法や大逆事件などにより弾圧され一時停滞した。大正期、世界的な民主主義の潮流やロシア革命の影響などを背景に、日本共産党が結成されるなど運動は再び活発化したが、治安維持法で抑圧されることとなった。

(200字)